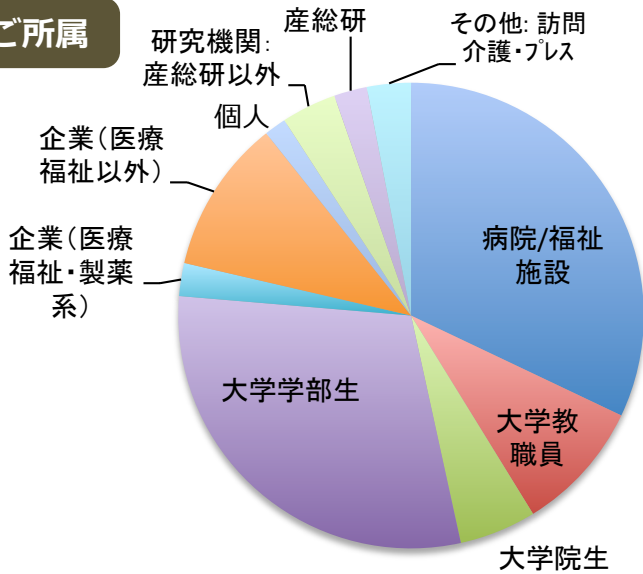
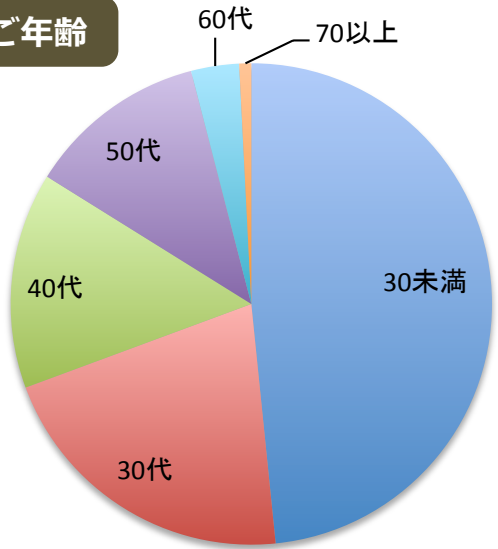


ご多忙にもかかわらず、ご参加いただきどうもありがとうございました。今年の内容は、昨年までとは逆に、産総研内へフォーカス致しましたが、如何でしたでしょうか？ 予めアナウンスしておりましたように、ご回答（外来場者の7割越え）について集計結果をご報告致します。

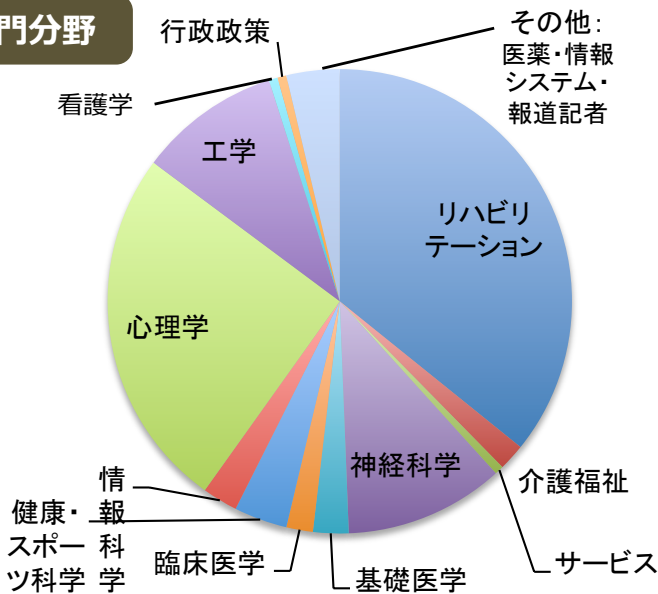
ご所属



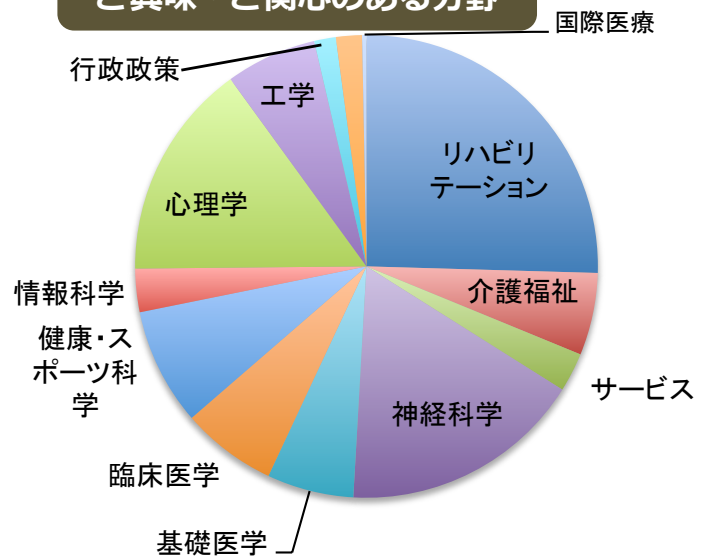
ご年齢



ご専門分野



ご興味・ご関心のある分野



第1回「キックオフ」から前回の俯瞰的視点「介入と評価」へ、そして「介入研究のフロンティア」に携わる産総研の視点へと引き継いで、多種多様なご感想・ご意見を頂いて驚かされた今回の開催となりました。学部生の方の参加が多かったこともありますが、リハビリテーションの進歩にまつわる話題がいろいろ身近になり、ニューロリハビリへの幅広いご関心が結びついていく様相に感銘しました。

臨床に係る基調・一般講演への高いご関心・ご興味に加え、基礎研究に係る講演と公募ポスターに対しても「リハビリテーションの最先端技術が築く未来」への希望を見出されたコメントがとても多かったです。第3回目の今回初めて動物実験の話題がありましたが、それらの出発点と目標が其々異なるにもかかわらず、そこから得られる研究知見其々に対して同様に、重要性と臨床研究の壁を打ち破る力への期待も多く寄せられました。

会場の寒さや狭さについての前回の意見へ配慮致しましたが、会場はお借りしているという事情と予想以上の参加者数のため、今回の準備では不十分だったと考えられました。また、前回頂いた「シンポジウムのアナウンスや宣伝をもっとした方が良い」への対策は、今回の参加者数に反映されましたが、今回も引き続き同意見がありました。そこで、次回のシンポジウムは、会場の変更や他団体との共催を含めた開催を企画しています。頂いたアンケートへのご意見全てを詳細に検討し、次回へ活かす所存ですので、今後共どうぞ宜しくお願い申し上げます。